

# この実だより

《第202号》  
2015年12月号

発行者  
社会福祉法人 札幌この実会  
札幌市西区西野969番地  
TEL. 011-663-2233

## 交流まつり



### 西ブロック編

西ブロック交流まつりを終えて

この実支援センター 池田 貴彦

夏真っ只中の八月二十九日(土)に今年も「交流まつり」が開催されました。天候に恵まれ、無事に開催することができました。当初は夏の時期に開催する事について、日差し、気温の面で心配が多く、当日も養生さんの負担になっていなかっただが最後まで懸念されましたが、日陰の利用、交流ホールの活用で体調不良の方も居らず無事に終える事が出来ました。

私事ながら、今までステージの裏方など何らかの形で携わってきたが、全体をまとめる重要な役割を初めて与えて頂きました。結論から言うと「楽しかった」と思えた事。四ヶ月前からの準備、打ち合わせを含め、実行委員、養生さん、保護者の方々、職員が協力して完成でき



趣向の凝った出し物に皆さん夢中です!

たときの喜びはこのような機会がなければ味わえなかったと思います。今年のお祭りには養生さんが楽しめる物に出という基本のテーマですが、マンネリ化してはいけないう、新しいものを取り入れることを目標にしていました。屋台には、南区にオープンしたパン屋「de file」(デファイル)の協力を得て、パンの販売を行いました。養生さんにパン嫌いはいない、というほどパンは大好き!当日は大盛況で行列が出来るほどになりました。



しいたけ実ちゃん  
「よろしくね!」

新しいものの二つ目に、原不シイタケのゆるキャラをアピールしたことです。今やシイタケ栽培は札幌市内の他施設でも行うところが増え、私たちも買っている場所がないという気持ちから、親しみを持っておりおうちゆるキャラを作ってみました。曰く「まもん」や「ふなっしー」には勝てないけれど、札幌中に広めたい!、色々な熱い気持ち、着ぐるみの制作にまで発展。見事、お祭りでお披露目が出来ました。当日は、握手を求めらる方、一緒に写真撮る方、さまざまなお形で活躍してくれました。名前の投票も行い、新しいたけ実(み)ちゃんに命をさされました。今後もこの実会のかゆるキャラとして活躍してくれる事を期待しています。

その他、走番の「のど自慢大会」や「ジャ  
ンボ空くじ」なども楽しんでもらえたかと思  
います。新人の出し物では、「志村けんシヨ  
ー」と題して、変なおじさんがステージを駆  
け抜けました。新人の顔を見なさんにも見て  
もらおう事が出来たかと思えます。

この様に既存のお祭りに工夫を加え、新し  
い風を吹かせた今回のお祭り。

「かー、もの足りなさを感じた方も居られる  
かと思えます。確かに、保護者の方も以前よ  
りは少なくなり、養生さん達の活発さも落ち  
着いて来ているようにも思えます。お祭りと  
衰退させるのではなく、趣向を変え違う視点  
からの盛り上げを今後必要とされるのでは  
ないかと思えます。

最後になりましたが、今回のお祭りに関わ  
っていたいただいた、保護者の皆様、参加して下  
さった養生の皆様、本当にありがとうございました。



来年も楽しみですね

### 南ブロッック編

みんなの丘祭り口をおこなって

北の沢デイセンター 前田 剛

八月二十二日、快晴の空のもと「みんなの  
丘まつり」が開催されました。

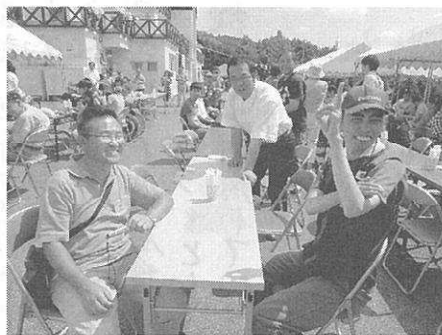
今年は五月より、第2この実業、北の沢デ  
イセンター、もいわサポートセンターの三施  
設から実行委員を選出し、お祭りの計画がス  
タートしました。

実行委員ではじめに、お祭りの名前の話と  
した時に「もいわサポート」も参加して初めて  
のお祭りなので、心機一転新しい名前で行い  
たい」という話になりいろいろな名称案が出  
ましたが、皆さんが笑顔で集うことを願ひ、  
「みんなの丘祭り」としました。

今年のお祭りのコンセプトは「楽しいお祭  
り空間を作り上げる」で、装飾や屋台の出し  
物を通し、お祭りの雰囲気を作り上げること  
に重点を置き準備を進めました。

今年はお祭りと第2この実業の駐車場と体育  
館に集約したことにより、お祭りの空気が凝  
縮され、会場の入口にはウエルカムゲートと  
設置したことが良い雰囲気作りになりました。  
会場内の座席についても、当日天候が良く

て直射日光が強い場合は、座っているだけで  
も体力の消耗が激しいので、テントの下に多  
くの座席を配置し、天候の急変にも柔軟に対  
応できるようにしました。



日差しが強いけれど楽しい!

体育館では三施設の日中活動の様子をポ  
ードに掲示し、来客や保護者の方に見ていただ  
くと共に、館内にもテーブルと椅子を準備し、余  
裕を持って休憩できるようにしました。

お祭りの楽しみ方のうちの一つは屋台の食事が  
あります。準備段階からどのようなメニュー  
でめれば養生さんやメンバーさんに喜んで  
もらえるかを考え、ありきたりなメニューだ  
けではなく、ハリケーンポテトや、美味焼き  
馬など、工夫を凝らしたメニューを準備し、  
味だけでなく、煙や匂いでもお祭りを楽し  
んでもらうため、会場で調理するメニューを  
増やしました。



すばらしい演奏でした

当日は十一時から札幌大谷大学の学生さんによる吹奏楽演奏でスタート。メンバーさんが知っている曲もあり、全身でリズムを取りながら楽しげに演奏に耳を傾けていました。



誰でしょう？

今年初の試みで、似顔絵書きの方を招いて康生さんやメンバーさんの似顔絵を書いてもらいました。今まで似顔絵を書いてもらう機会が無かったメンバーさんは、やっぱりな似顔絵を書いてもらい、大満足の表情でした。

のど自慢の後のよさこいでは、「旭川北の大地」という、旭川のよさこいチームに来ていただき、躍動的なよさこい演奏に続き、メンバー、寮生と一緒によさこいを踊り、よさこいチームの方の踊りに合わせ、会場がひとつになりました。

屋台販売では保護者の方のご協力を頂き、フライドポテトや焼きそば、かき氷などバラエティに富んだメニューを準備することから出来ました。屋台ブースで感じたことは、職員と保護者や保護者同士のコミュニケーションの場になっていて、保護者の方が、若い職員に手とり足とり教えている光景が印象的で



皆さん美声に夢中です

吹奏楽演奏のあとはメンバー、寮生、職員参加の「のど自慢」大会です。歌を歌うことが好きな方が多く、参加希望が多かった中から選ばれた三組が、曲に合わせて自慢の喉を披露しました。観客の皆さんも拍手や掛け声でかけたりと大盛り上がりでした。



南ブロック「みんなの丘祭り」も大成功！！

た。昔に比べ保護者と共同で行事等を行うことが少なくなってきたので、今後も交流の貴重な場として続けていきたいと考えています。

お祭りの最後は恒例の大ビンゴ大会で、特賞の旅行券と筆頭に数々の果物が並び、最後まで楽しく昂奮した中でお祭りを終えることができました。

最後になりましたが、ご協力いただいた親和会の保護者の皆様に感謝いたします。来年も寮生、メンバーさんが楽しめるお祭りになります、と思います。

フォークダンス教室

二〇年目了!

支援・相談室この実 川路 彰

平成8年に「地域交流ホーム」が西區平和に建設された。この地域交流ホームは、日本自転車振興会の補助金と平成元年に、盤溪の山林2万坪を寄贈された山科アキさんからの寄付金500万円を基に「自己資金」で建てられた。

地域の人達、保護者、そして兼生の活動の場として具体的な計画がなされてきた中に「フォークダンス教室」があった。十年以上前に冬のレクレーションとして行っていたことがあつたが、その職員が退職と共に立ち消えになってしまったフォークダンスである。

現在も市内のフォークダンスサークルで活動されている保護者の長南しげみさんが、当時、体育館を借り、仲間との練習の場としていることを知った職員が、「地域交流ホームで兼生に教えてもらえないで、ようか」とお願いしたので始まりであった。「私も勉強になるからいいですよ」と快く引き受けてくれ、何人かの仲間の方と共にボランティアで指導していただいて、今に至っている。

兼生は、音楽や踊りも大好きであるが、二人で組になったり、右に左に揃って動くのは苦手で戸惑うこともあった。しかし、長南さんは、本来のステップより簡単にアレンジして、説明もわかりやすく時間をかけて繰り返し教えてくれたことで、月1回の教室を楽しくしている。また、練習された兼生らしい衣装を着飾り踊ることも楽しんでいる。毎回三十人ほどが参加しているが、曲が流れたりと体が動き、大きな輪だよ、二人で手をつなぐんだよと教え合い、曲に合わせて歌ったり、次は何の踊りだね、専々、フロアーいっぱいに広がって笑顔で踊っている。アツという間に一時間半が過ぎってしまうが、終わった後に車座になって、毎回差し入れてくれるジュースやお菓子を食べ談笑するのも楽しいところである。



皆さん笑顔が絶えません

七十代の長南さんは、「最近、もう終わりにしようかなと思う時もあるけど、兼生の皆さんの楽しんでいる顔を見て、また来月ね」と言われるとね。私が皆さんに引張られてもらっているんですよと嬉しそうに話される。ボランティアさんは、得意分野で個々に見てくれ、隠れた力を引き出してくれる。職員のように毎日顔を合わせるのではなく、時々が良いのであろうが、反省と心め継続してくれ。兼生が、感謝状の贈呈を申し込んだところ断られたそうである。ボランティアでダンスの輪だけではない、兼生の話や「世間話」の輪にも加わってくれている長南さんのお仲間、山田京子さん・宮後節子さん・角田忠子さんの3人にも兼生や保護者に代わり心からお礼を申し上げます。



いつもありがとうございます